

# とちぎ 国際交流

## International Exchange Bulletin

第 4 号

1989年（平成元年）10月

編集発行

(財) 栃木県国際交流協会

Tochigi International Association

〒320 宇都宮市昭和1-2-16

栃木県自治会館1階・3階

Tel (0286) 21-0777(代)

Fax(0286) 21-0951



茶臼岳（1,917m）は、県内唯一の活火山です。山頂付近には直径100m、深さ60mぐらいの火口があり、穴から盛んに噴煙を上げていて、黒磯付近からもよく遠望できます。頂上からは四方が眺められ、尾瀬や福島県の山々や4万haにわたる広大な那須野が原が一望にできます。

また、このあたりの10月初めの紅葉は、那須でも一番雄大で美しいところです。

Mount Chausu is the only active volcano in Tochigi prefecture. It rises 1,917 meters above sea level. The crater is about 100 meters in diameter and 60 meters deep. The smoke constantly belching forth from the mountain can even be seen from Kuroiso.

From the very top of the mountain one can enjoy the panorama of Oze, the mountains in Fukushima prefecture and the Nasunogahara Plateau.

In October, the maple trees change color and the scene is breathtaking.

| 目   | 次 |
|---|---|
| 表紙写真「茶臼岳」                                     | 1 |
| ようこそとちぎへ                                      | 2 |
| こんにちは国際交流員です。                                 | 3 |
| 你好、技術研修員                                      | 3 |
| 「リベリア体験記」                                     | 4 |
| 青年海外協力隊募集説明会                                  | 4 |
| '89国際交流キャンプ in ばとう                            | 5 |
| こちら国際交流最前線                                    | 6 |
| 事業紹介  | 6 |
| 協会日誌  | 6 |
| 国際交流Q & A                                     | 7 |
| 日韓親善柔道大会                                      | 7 |
| Information Corner (Fruit-picking in Tochigi) | 8 |
| 編集後記  | 8 |

# ようこそ とちぎへ

宇都宮市在住 (スリランカ出身)  
宇都宮大学大学院留学生 (工学研究科修士課程)

මොහමද අනුජානු මොハドアンザールさん

ஃஃஃ ஸர்ஃஃஃ, ファイザさん ご夫妻

## 〈プロフィール〉

アンザールさんは、モロントゥア大学で土木工学を専攻。大学卒業後、3年間働いていたが、'87年10月に奨学金を受け、来日。筑波大学で5ヵ月間日本語を学んだのち、宇都宮大学大学院へやって来た。母国語であるタミル語やシンハラ語の他、英語、アラビア語、日本語など数カ国語に通じている。天秤座生まれの28才。



奥様のファイザさんは、'88年4月、アンザールさんが宇大大学院に入学したのを機に来日した。牡牛座生まれの23才。アンザールさんとは3年前にお見合いで結婚。おふたりともスリランカのカルモナイ出身。敬虔なイスラム教徒である。

## 〈来日の動機を聞かせてください〉

コンピューター関係の仕事をするにあたり、世界で最も進んだ国で学びたいと思ったのです。また、治安もよいと聞いていましたので、家族も安心して送り出してくれました。

## 〈来日前に持っていたイメージと違った点などありますか〉

日本に来る前は、日本女性は皆「着物」を着ていると思っていましたが、実際に着物を着ている人は少ないですね。特に若い女性が着物を着ているのは殆ど見たことがありません。

## 〈日本に住んでみて、日本の習慣などから影響を受けたりしましたか〉

影響を受けたといえば、物を食べる時に「ん〜」と言って食べるようになったこととか、人に挨拶する時、頭を下げるようになったこととか……あと、人の話を聞きながら聞くようになってしまいました。(笑)

## 〈日本に来て困ったことはありましたか〉

来日当初は言葉がわからなくて困ったりしました。ニュースが分からなくてね。今は……宗教の違いで理解してもらえないという事がありますね。日本は宗教に対しての考え方が全然厳しくないのが分ってもらえないとか。たとえば、お弁当の中に肉が入っている場合、私が食べられないと言うと、肉だけ避けて食べればいいのかと言う人がいるんです。しかし実際にはそのお弁当全体が肉の影響を受けているわけですから、お弁当自体が食べられないわけですが、日本

の方々には解っていただけないことが多いですね。

## 〈イスラム教では断食月があると伺っていますが〉

はい。日本に来てから、2回、断食月がありました。ちょうど試験中で。

## 〈ものを食べないと頭がはたらかないのでは?〉

(笑) 別にそのような事はないです。それに、宗教が断食の月を決めているのは、人間の体にとって、断食することも必要だからなのだと思いますし。

## 〈日本の学生とスリランカの学生との違いは?〉

スリランカの場合、仕事は従事せねばならないものがほとんどで、アルバイト的な仕事はないのです。ですから、学生がアルバイトするということはないです。あと、これは友人から聞いた話で、私は実際に見たことがないのですが、授業中に寝てしまう学生がいるとか。(笑) スリランカでは学生が授業中に寝るなんて考えられませんね。

## 〈アンザールさんから見た日本の良い面・悪い面を教えてください〉

良い面と言えば、まず経済的に安定していることと、生活水準が高いことでしょう。日本で物を盗まれるということはほとんどありませんし、生活に困っている人というのがあまりいないような気がします。あと治安も良いですね。悪い面というか、気になる面というのは、テレビドラマに関してなんですが、大人向けの番組が比較的早い時間に放送されていることなんです。具体的に言うと、濃厚なラブシーンや女性の裸、暴力シーンなどがテレビに頻繁に出てくる。とても気になります。子供に悪影響が無ければ良いのですが……。

## 〈スリランカの人々の対日感情はどうか〉

良いと思います。スリランカの場合は、日本に侵略された歴史もないし……。日本は小さい国で、日本人はよく働くという印象ですね。スリランカのテレビ局は、現在、一局だけなのですが、私の覚え違いでなければ、このテレビ局は日本の援助でできたはずですが。また、日本企業もスリランカ国内には沢山入っていますし。スリランカ国民は、日本や日本人に対しては、悪い印象は持っていないと思います。

## 〈お二人の馴れ初めを聞かせて下さい〉

日本でいう「お見合い」です。

双方の両親など、年長者が、この二人は結婚すればうまく行くのではないかとということですすめてくれたんです。そんな訳で、お互いの顔くらいは知っていましたが、結婚するまでデートもしたことがありませんでした。

## 〈奥様は主婦ということですが〉

スリランカでは、女性が結婚後も働くというのはまれなのです。仕事を持っている女性も、だいたい、結婚したら辞めてしまいます。

## 〈お休みの日は何をしていますか〉

旅行が好きなので、車を運転して出掛けたりしていますね。と言っても、日光とか那須とか宇都宮近郊ばかりですが。

終始にこやかにインタビューに応じて下さったお二人。

奥様のはにかんだ笑顔がとても印象的でした。

## こんにちは国際交流員です

写真右 アンドリュー・カークさん(アメリカ)

写真左 ニコレット・ジュリア・アンダーソンさん(イギリス)



外国青年招致事業に基づき、県国際交流課に配属されている「国際交流員」のお2人が、10月から毎週水、金曜日には当協会において在県外国人に対するアドバイス、カウンセリング、国際交流事業等の企画助言を行うことになりましたので是非お気軽におでかけください。

また、身近におられる外国人の方々にもお知らせ下さい。皆様のお越しをお待ちしております。

(栃木県国際交流協会 ☎0286-21-0777)

## 『ザ・東北線』

栃木県に来県する外国人の数は増え続け、最近では、コミュニケーションを求めて独自に活動する方々も増えてきました。その方法は様々ですが、一手段として、雑誌を媒介に、地域とのコミュニケーションをはかっているグループがあります。月刊雑誌『ザ・東北線』のスタッフの方々です。

雑誌『ザ・東北線』は、英語圏の国々(アメリカ・オーストラリア・ニュージーランド・イギリスなど)から来日し、宇都宮に在住している外国の方々を中心となって作っている県内唯一の月刊英字誌です。編集スタッフの中には、日本人の方もいます。スタッフは全員がボランティアです。

毎週一回(だいたい金曜日の午前9時から10時半頃まで)行われている編集会議では皆さん、英語で和気あいあいと意見の交換をしています。そして、この会議には、雑誌を作ろうという意欲のある方ならば、どなたでも参加出来ます。

『ザ・東北線』の内容は、日本の時事問題から日常の出来事を綴った軽い読み物まで幅広く、また、広告スペースや求人欄なども設けられています。

記事は、日常生活で使われている英語で書かれているため、生きた英語に触れることが出来ます。広く日本の方々からも原稿を受け入れていますので、『ザ・東北線』宛に投稿すれば、あなたの原稿も活字となり、県内在住の方々を目にとまることとなります。皆様もスタッフやコラムニストになって、県内在住の外国人の方々とコミュニケーションをしてみませんか？

『ザ・東北線』は一部百円。(栃木県国際交流協会)にあります。

## 你好 技術研修員

海外技術研修員受入制度は、開発途上の有能な青年を受け入れ、必要な技術の習得に協力するとともに、広く県民との交流を通じて、相互理解を深め、友好親善に貢献しようとするものです。当協会は県から事業の委託を受け、関係者やボランティアの方々の協力を受けながら、14名の研修員のお世話をしています。



(左から 汪、方、商、曹さん)

今年度は、6月に中南米、アジア、アフリカから10名の研修員(とちぎ国際交流第3号に紹介)をはじめ、7月、9月には、中国浙江省から4名の研修員が来県しました。

浙江省は上海市の南に位置し、豊かな自然と物産に恵まれ、「シルクとお茶の産地、文化遺産の地、観光客の楽園」などと呼ばれ、美しく豊かなところです。また面積は本県の約15倍、人口は4千万を有し、省都は観光都市の杭州市です。昭和61年から交流が始まった本県と同省は、文化・教育・農業など幅広い分野での友好交流をうたって、本年7月29日に友好交流協定書に調印し、今後ますます人と人の交流が深まることでしょう。

現在、浙江省からの4名は、各研修機関で知識や技術の習得に励んでおり、帰国後、これらの技術や経験が浙江省の発展に貢献し、本県との友好に限りない力を発揮することでしょう。彼らの日本での研修の成功を祈り、心からエールをおくります。

| 氏名   | 年齢 | 性別 | 国籍      | 研修科目          | 研修機関             |
|------|----|----|---------|---------------|------------------|
| 商 克紹 | 41 | 男  | 中華人民共和国 | 種鶏、種豚の育種及び防疫  | 栃木県畜産試験場         |
| 方 建平 | 39 | 男  | 中華人民共和国 | 果樹の育種栽培(梨、桜桃) | 栃木県農業試験場         |
| 曹 欣  | 26 | 男  | 中華人民共和国 | 大麦の育種、組織培養    | 栃木県農業試験場<br>栃木分場 |
| 汪 如亨 | 29 | 男  | 中華人民共和国 | 日本語の会話、歴史、文学  | 栃木県立宇都宮北高等学校     |

## TEA BREAK



ボリビアの乾杯は、まずグラスのお酒を少し大地に注ぎ大地に乾杯してから、はじめてお酒を口にします。多くの恵みを与えてくれる母なる大地に感謝をするのだそうです。長い歴史をもつアンデスの国らしい、ちょっといい話ですね。

## 「リベリア体験記」

青年海外協力隊昭和62年度一次隊リベリア派遣

く まん つよし  
久 万 剛  
芳賀郡二宮町出身

搭乗機のドアが開かれるとムツとした空気が入り込み、たちまち手の平が汗ばんできた。私達、青年海外協力隊リベリア派遣一行8名は昭和62年7月31日にリベリアに到着した。出迎いの現地スタッフと共に一步空港ターミナルの外に出ると、タクシーの客引き、タバコ売りの少年達が群がってくる。黒い肌、訛の強い英語の叫びに圧倒された。現地オフィスまで約70キロ、見事に舗装された直線道路を車は100キロで走り抜ける。やがて日が暮れ、ロウソクの灯で店を出す人々の姿が浮び上ってきた。かと思うと中国の援助で建てた近代的なサッカースタジアムが見られる。そのアンバランスさに、本当に途上国に来たのだなという実感が込み上ってきた。

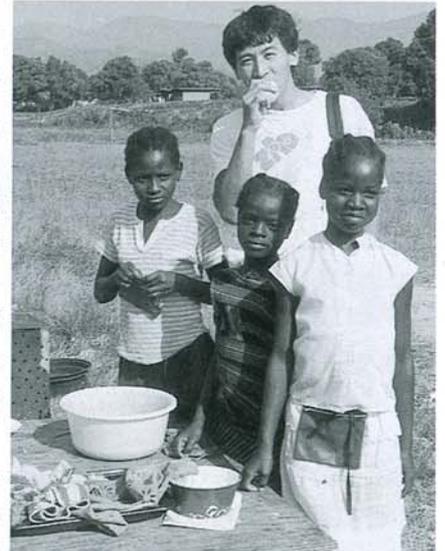
赴任してから一ヶ月は、現地英語レッスン、省庁回り、村落ホームステイ、国内旅行に費やした。中でも国内旅行は雨期真っただ中の敢行であり、乗れるだけ乗せるトラックの荷台に詰め込まれ、ぬかるみにはまっては泥にまみれて後押しの手伝いもした。この肌と肌との触れ合う体験によって、一つ何かが拭われた思いがした。

9月、いよいよ勤務地に着任。この勤務地はヤケパという首都モンロビアから北へ320キロ程離れたギニア国境に接する、鉄鉱石の鉱山町である。この町にある職業訓練校の一般機械科に配属された。この学校は25年前スウェーデンの援助で建てられ、生徒数160名、教師数16・7名の規模である。私の科は1、2学年共に20名程であり、週5日、一般、専門学科、工場実習を受けることになっている。

私の主な活動は実習の指導と機械製図の授業であった。とは言ってもリベリアの経済は80年の革命以後、悪化し続けており、その影は教育の現場にも落ちていた。工具が無い、材

料が無い、油が無い。設備が古い事に加えての無い無い尽し。そんな環境の中でも生徒達はこれまで体験した事のない機械による作業を覚えることに興味を示してくれた。

最初の試験の後、私は普通に採点して生徒に返した。瞬時にして私は彼等によってとり囲まれた。どうやら彼等の生涯を通じて最低の点をつけたらしいのだ。殺気さえみなぎる彼等を説得するには骨が折れた。後に先輩隊員に聞く所によれば、この国の採点法は、まず50点を与え、それから数えだ



すのだそうだ。この国がアフリカ最初の共和国でありながら、今だに発展しない理由の一つがこんなところにもあった。

また彼等は実によく物を請う。「I beg you」は彼等の常用句であり街では子供が「Give me 5¢」と言ってくる。その度に私は、やり場の無い気持ちにかられ、「ゴメンね。」と言ってかわす。私は生徒にこの乞食根性を捨てなさいと言ってきた。欲しい物があれば努力しなさい。リベリア人の意識が発展に向けて本当に目覚める事によって未来は開けていくのだと。

## 青年海外協力隊募集説明会(平成元年度秋募集)

開発途上国で不足している技術・技能を、相手国の要請に応じて提供している国際協力で、国際協力事業団が実施しています。現在世界42カ国で8,600人以上の日本の青年が現地の人々とともに新しい国づくりに活躍しています。

今回の募集は約150職種、約1,000名の規模で、県内では右記の5会場で募集説明会を開催します。応募資格は20歳以上39歳までの青年男女です。お気軽にお越しください。

- |              |                              |
|--------------|------------------------------|
| 11. 6(月)大田原市 | 大田原総合文化会館                    |
| 7(火)足利市      | 足利市民プラザ                      |
| 8(水)真岡市      | 真岡市真岡公民館                     |
| 9(木)小山市      | 小山市中央公民館                     |
| 10(金)宇都宮市    | 栃木県青年会館<br>(各会場 18:30~20:30) |

お買物からレジャーまで、自由自在の便利さです。

### 東武の商品券

商品券をお買求めの際、消費税・印紙税はかかりません。

- 券種=500円券から100,000円券まで
- ご希望の金額にあわせてご調整いたします。
- お求めは=1階商品券サロン  
または、お近くの東武ギフトショップ



全国一流百貨店50店をはじめ、東武百貨店(宇都宮・池袋・船橋)、日光レークサイドホテル、東武トラベルなど東武グループを中心に、200余りの店舗・施設でご利用いただけます。

**TOEI**  
宇都宮 東武 TEL.0286(34)8271  
全店夜7時まで営業・水曜定休

当協会は馬頭町国際交流会と馬頭町との共催により、世界18ヶ国からの外国人47名、当協会ボランティア（インタープリター）25名をはじめ、総勢260名参加の『'89国際交流キャンプinばとう』が8月25日から3日間、馬頭町青少年旅行村で開催されました。

馬頭町は現在、アメリカのニューヨーク州ホースヘッド村（Horseheads村）との友好交流を着々と進めており、また馬頭町国際交流会と相協力しながら数々の国際交流事業を実施している、県内でも国際交流に関する先進地域です。

まず、キャンプ第1日目には、山村開発センターにおいて、オープニング・セレモニーが始まり、各テーブルでのいろいろな国の言葉を交えた交歓会、馬頭町紹介フィルムを鑑賞したのち、外国からの参加者は馬頭町の各家庭にホームステイする一方、ボランティアは最近海外で人気を博している俳句のフィルム『奥の細道』（英語版）を鑑賞し、旅行村へ向かいました。

鳥のさえずりに目を覚ましたキャンプ2日目、ホストファミリーに連れられ、日本家庭の味を楽しんだ参加者が続々と旅行村に集合します。参加者全員によるグループに別れての昼食作り。もちろん、屋外で薪を使ったカレーライス作りです。包丁の使い方、材料の切り方など作り方はまさに「所変われば品変わる」のこぼ通りの国際版、出来上がった鍋の中にも小さな「食の国際交流」がみられます。



グラウンドでは、餅つきや新町子供ばやしなどと楽しい一時を過ごし、夜の交流キャンプ祭りに向けて、日光和楽踊りの笠踊りの練習を行いました。

夜のとばりが降り、いよいよメインイベントの「交流キャンプ祭り」です。馬頭町青年団の手作り料理に舌鼓を打ちながら、習いたての和楽踊りやスイカ割りを楽しみました。また旅行村に宿泊している一般の人々も、お囃子に誘われる



ように多数訪れ、ふだん着の国際交流に一役を買いました。夕方から黒い雨雲を運んできた台風17号も祭りの盛り上がりや和楽音頭に耳を傾け、しばし雨を降らせることを忘れていたようです。

体育館での車座になったの交歓会に花が咲いていると、いつの間にかディスコ・ミュージックが鳴り響き、リズム感のある外国からの参加者が踊りだし、日本人も老若男女問わず踊りの輪の中に入り、体育館はディスコに早がわり。踊りは深夜まで続けました。



激しい雨音に目を覚ましたキャンプ最終日、会場を体育館に移し、小砂焼の陶芸教室の始まりです。歓談しながらの作陶や絵付けにも、目と手は真剣そのもの。個性と国柄をあらわした作品が多く、ちょっとした国際陶芸展が開けるような気分になります。大皿への記念寄せ書き、記念撮影、クロージング・セレモニーとすべての行事を無事終了し、国際交流キャンプの幕が閉じました。

馬頭町の厚い人情と豊かな自然の中でいろいろな人々が肌を触れ合い、交流を深め、多くの思い出を作った、まさに“from heart to heart”の3日間でした。

最後に、この紙面を借りまして馬頭町国際交流会、馬頭町そしてこのキャンプを成功に導いて下さった多くの皆様に御礼申し上げます。

—いいものいつも…信頼のコミュニケーション—



宇都宮市馬場通り4丁目1番13号〒320  
電話0286-(21)-1616(大代表)



AFS (エイ・エフ・エス) は交換留学制度です。今年3月から栃木県の高校に在籍し、日本の家庭生活・学校生活を体験している9人の留学生を御紹介いたします。

AFSの名称は、第一次世界大戦のさなか、傷病兵看護にあたった American Field Service (アメリカン・フィールド・サービス) に由来しています。もう二度とあのような悲惨な体験をくりかえさないようにと国境を越えた真の相互理解を達成するため交換留学を推進しております。

人種がちがう。文化がちがう。言語がちがう。だけど、そこで暮らしている人は、やはり、同じ人間です。留学生も日本語がたいへん上手になってきました。仲良しになって下さい。

AFSでは、ホームステイの家庭を募集しています。

◎年間生徒受け入れ家庭 (1990年3月～1991年2月)

◎短期生徒受け入れ家庭 (1990年6月から8月迄の10週間)

連絡先：船田千絵0286-33-7764



## 事業紹介

### 日本を知る

— あなたはどう考え、伝えますか —

日本で「国際」という言葉が聞かれるようになって久しく外国人と接する機会は多くなっていますが、自分の国について日本語できちんと説明できることが、今後ますます必要とされることでしょう。本当の国際人としての日本人を育てるために「日本を知る」連続講演会を開催いたします。

|     | 講師/テーマ   | 日時                        | 場所          |
|-----|--|---------------------------|-------------|
| 第1回 | 福田 稔氏 下野新聞社論説委員長<br>テーマ “世界の中の日本”  | 10月14日(土)<br>2:00～4:00 PM | 栃木会館<br>305 |
| 第2回 | 志賀かう子氏 随筆家<br>テーマ “姿をつたえる”   | 10月21日(土)<br>2:00～4:00 PM | 同上<br>401   |
| 第3回 | 薄井 健郎氏 姿川中学校校長<br>テーマ “日本人学校を通して見た<br>今の日本の子供”<br>— ケニアでの経験をもとに —          | 10月28日(土)<br>2:00～4:00 PM | 同上<br>305   |
| 第4回 | パネリスト Robert Rendich,<br>Marlene F. Yamada<br>中込ひろみ、王漢山<br>テーマ “隣人としての日本人” | 11月11日(土)<br>2:00～4:00 PM | 同上<br>305   |
| 第5回 | 広瀬 正宜氏 国際基督教大学日本<br>語科準教授<br>テーマ “日本語のしくみ”                                 | 11月18日(土)<br>2:00～4:00 PM | 同上<br>305   |

共 催 財団法人とちぎYMCA  
(財) 栃木県国際交流協会

後 援 下野新聞社、朝日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、栃木放送、NHK宇都宮放送局

参加費 5回連続2,500円 / 1回700円

定 員 70名先着順

申込み先 宇都宮市宮園5-33 矢野ビル2F  
YMCA教育センター  
0120-348581 梅沢文子まで

### ～国際交流推進事業助成金制度がスタート～

協会では、地域レベルでの国際交流をさらに広げるために、県内において国際交流活動を実践している団体が、国際交流事業を実施するに当たり、当協会と共催で行う事業に対して資金的助成を行う制度です。

対象者 県内の国際交流事業を推進しようとする団体

- 対象事業 (1)一般県民に対し、公開される事業  
(2)営利目的でない事業  
(3)日程と内容が具体化している事業

助成金額 事業費(会費等の収入を除いた額)の2分の1以内。ただし上限は20万円。

以上の条件を満たし、当協会が適当と認めるものに対して助成を行います。詳しくは協会まで。

## 協会日誌(1989 8.1～1989 9.30)

- 8. 1 フランス語講座開講 (自治会館8.9月毎週火曜日)
- 8. 2 県議会国際交流対策特別委員会 (栃木県公館)
- 8. 3 中国語講座開講 (氏家町8.9月毎週木曜日)  
(財) 氏家町国際交流協会と共催
- 8. 7 英会話講座開講 (鹿沼市8.9月毎週月曜日)  
(財) 鹿沼市国際交流協会と共催
- 8.23 アジアの夕べ (栃木会館大ホール)  
国際交流基金と共催
- 8.25 国際交流キャンプ (馬頭町)
- ～27 馬頭町国際交流会及び馬頭町と共催

- 9. 3 日中友好協会大平支部ぶどう交流会
- 9. 7 中国浙江省友好考察団団長蔡舜他6名来県  
～12 青年海外協力隊OB会役員会 (自治会館)
- 9.19 シンボルマーク審査委員会 (自治会館)
- 9.20 海外技術研修員及び研修機関との懇談会 (ロイヤルホテル)
- 9.22 海外移住家族会役員会 (自治会館)
- 9.25 ブラジル移住高齢招待者入国
- 25～26 海外技術研修員県内視察 (日光、鬼怒川)
- 9.27 栃木県地域留学生交流推進協議会設立総会 (ロイヤルホテル)

円高の御陰で、一昔前まではごく一部のの人々に限られていた「海外留学」というものが大変身近になってきましたが、実体については、正確な情報が伝わっているとは言えないようです。そこで、今回は留学についての初歩的な疑問についてお答えします。

Q1. 「正規留学」とは何ですか？

A1. 「正規留学」とは「学生ビザをとって留学すること」です。つまり、留学先が語学学校であっても、高校でも、大学でも、学生ビザで留学している人は皆「正規留学生」です。ところで、この「正規留学」という言葉は、しばしば誤解をまねく原因になるようです。たとえば、留学斡旋団体の広告などでよく見かける「〇〇大学への正規留学！」。日本には、外国人用の日本語語学コースを設けている大学がないためピンとこないかもしれませんが、諸外国では大学の正規学部とは別に、外国人の為の語学コースを設けているところがあります。日本からの諸外国の大学への留学生というのは、そのような「語学コース」への留学生が大部分であり（特に斡旋団体を通す場合は9割以上がこれです）、学部留学生というのはそれほど多くはないのですが、この「学部留学生」と「語学コース留学生」は受けている授業の内容は全然違っていても、ともに学生ビザが発行されるのでひとまとめにして「大学の正規留学生」とよばれています。したがって、大学の外国人用語学コースへの留学を「正規留学」として広告すること自体には問題がないわけですが、一般に、日本の方々は「大学正規留学」という言葉を無意識のうちに「〇〇大学××学部で勉強す

る」ととらえてしまうため、斡旋業者と、留学生やその御両親の間でトラブルが起こることがあるのです。

Q2. 留学の為に必要な準備期間について教えてください。

A2. 語学留学の場合は、半年くらい準備期間があれば充分ですが、大学の学部や大学院に留学する場合は、1年半（以上）前から準備をはじめてください。どこの国に留学するかによっても違ってきますが、留学準備についての大まかな流れは以下の通りです。

| 留学先の学校の入学時から前の期間 | 留 学 準 備 に つ い て  |
|------------------|--|
| 1年半前             | 学校に資料や入学願書などを請求する。語学力試験の申し込みをする。   |
| 1年2～3か月前         | 語学力試験を受ける。   |
| 1年前              | 必要書類を揃える。（入学願書・最終学校の卒業証明書最終学校の成績証明書・健康診断書・推薦状・エッセイ等）<br>*書類はすべて留学先の言葉に翻訳する。書類作成者と翻訳者が違う場合は翻訳者を明らかにし、原文を翻訳文に添付する事。原文と翻訳文が同じ内容であることを証明する「公証人の認証」が必要な場合もある。 |
| 1年前～半年前          | 必要書類送付。  |
| 半年前～4か月前         | 入学許可の通知を受け取る。  |
| 3か月前             | 入学手続き／渡航手続き。<br>（大学寮への入寮手続き・学生ビザ申請・パスポート取得・航空券購入・外貨購入・保険加入・その他）  |
| 1か月前             | 渡航   |
| 入学               | 学生登録・科目登録その他   |

## 「日韓親善柔道大会」(後援：(財)栃木県国際交流協会) 1989.8.2 青木武道館

### 韓国の次期オリンピック候補選手を招き 華やかに日韓親善柔道大会を開く

去る8月2日宇都宮市星が丘の青木武道館において、日韓親善柔道大会が華やかに開催されました。

この大会は、栃木県日韓親善協会の会長をしている北関東



総合警備保障㈱の青木忠三社長が、'88ソウルオリンピックに大成功を収めた韓国から金メダル選手を含む柔道選手を招聘し、栃木県内の小中高校生と一般から選抜した選手の柔道交流を行い、日韓両国の友好親善と県内柔道技能の向上を図る目的で企画し、青木社長が兼ねてから知己の仲である韓国柔道院李相燦理事長との接渉により開催されたもので、韓国側からソウルオリンピック金メダル河亨柱選手（現東亜大教授）をコーチとして、次期バルセロナオリンピック候補選手（田萬培四段ほか三名）のほか韓国柔道院門下の小中高校生10名をもって構成した韓国最強の選手団で、本県から教員や警察官をはじめ小中高校生から選抜した優秀選手と対抗しましたが、結果は10対21分の韓国側勝利に終り、韓国柔道のレベルの高さを示しました。

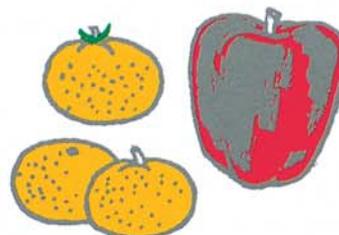
終ってから歓迎のレセプションがニューみくらで開かれ、伊藤県警本部長はじめ当協会推津理事長など各界から参加し、日韓青少年の交流交歓が和やかに行われました。

## FRUIT-PICKING IN TOCHIGI

In Tochigi Prefecture, there are many orchards.

In some orchards you can pick fruit from the trees by yourself. Enjoy fruit-picking and getting your own fruit.

(Please make a reservation before you go to an orchard.)



### APPLES

| CITY OR TOWN | PERIOD                                | NAME OF THE PLACE | EN-TRANCE FEE | PRICE PER KILO | TRANSPORTATION  | REFERENCE (☎) (WEEKDAYS ONLY) |
|--------------|---------------------------------------|-------------------|---------------|----------------|---|-------------------------------|
| UTSUNO-MIYA  | MID-SEPTEMBER to last week in October | ISHINATA          | FREE          | * ¥450 ~ ¥650  | Take the KANTO BUS to NIKKO from JR UTSUNOMIYA station, get off at SAKAKINOSATO stop, then walk for 3 mins. (10mins. from UTSUNOMIYA INTERCHANGE)   | 0286-69-2528 (9:00am-5:00pm)  |
|              | OCTOBER to MID-NOVEMBER               | FUKUOKA           | FREE          | ¥450           | Take the KANTO BUS to FUBASAMI / NAGAHATA from JR UTSUNOMIYA station, get off at MUKAINO-UCHITSUBO stop. (20 mins. from KANUMA INTERCHANGE)         | 0286-52-0665 (9:00am-5:00pm)  |
| YAITA        | SEPTEMBER to NOVEMBER                 | NAGAI / NAKA      | ¥300          | ¥450           | 7 mins. by taxi from JR YAITA station. (5 mins. from YAITA INTERCHANGE)   | 0287-44-2311 (9:00am-5:00pm)  |
| KITSURE-GAWA | Last week in AUGUST to MID-NOVEMBER   | KITSURE-GAWA      | FREE          | Around ¥400    | Take the TOYA BUS to KITSUREGAWA / BATO from JR UJIE station, get off at HONCHO stop (approx. 20 mins.), or 5-10mins. by taxi from JR UJIE station. | 0286-86-3013 (9:00am-5:00pm)  |
| NASU         | Last week in SEPT. to MID-NOVEMBER    | INAZAWA           | FREE          | ¥450           | 15 mins. by taxi from JR KUROIISO station. (20 mins. from NASU INTERCHANGE)   | 02877-5-0326 (9:00am-5:00pm)  |

\* The price depends on the rank of apples. TSUGARU & STAR KING : ¥450 per kilo, ORIN & YOKO : ¥470 per kilo, SEKAICHI : ¥650 per kilo

### MANDARIN ORANGES

| CITY OR TOWN | PERIOD                               | NAME OF THE PLACE | En-TRANCE FEE              | PRICE PER KILO | TRANSPORTATION  | REFERENCE (☎) (WEEKDAYS ONLY) |
|--------------|--------------------------------------|-------------------|----------------------------|----------------|---|-------------------------------|
| KARASU-YAMA  | MID-OCTOBER to last week in NOVEMBER | KUNIMI            | ¥400 per person            | not decided    | 15 mins. by taxi from JR KARASUYAMA station. (70 mins. from UTSUNOMIYA INTERCHANGE) | 02878-3-1111 (9:00am-5:00pm)  |
| ASHI-KAGA    | NOVEMBER                             | YAMA-SHITA        | will be decided by OCTOBER |                | 5 mins. by taxi from JR YAMAMAE station.  | 0284-21-1141 #294 (9am-5pm)   |

## 編集後記

### ●研修室、ライブラリーの御案内

協会（自治会館）3階に国際交流を深める場として研修室等を開設しておりますので、是非御利用下さい。

### ●募集「読者からのおたより」

皆様の身近でおこった国際交流に関する出来事（旅行・料理・イベント等）を400字程度にまとめて当協会へお寄せ下さい。お待ちしております。

### ●日本語講座開講予定

11月から、宇都宮市と栃木市で日本語講座を開講いたします。身近な外国人の方々へお知らせ下さるようよろしく願いいたします。詳しくは協会まで。

### ● Meeting Room・Library

Should you ever wish to use the facilities here on the 3rd floor of the TIA, either the meeting room or the library, you are most welcome. Our aim is to facilitate international understanding. Please make a reservation.

● We would very much like to hear about your own personal "international understanding" activities or experiences, whether cooking, travelling, forth coming or past events etc... Please write your brief in not more than 250 words and bring or send to the TIA.

### ● Free Japanese Class

There will be a free Japanese class from November in both Utsunomiya and Tochigi. For further information, please call TIA on 0286-21-0777.